



平成 24 年 8 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社 内 田 洋 行  
代 表 者 名 代表取締役社長 柏 原 孝  
(コード番号 8057 東証・大証第 1 部)  
問 合 せ 先 執行役員管理本部長  
秋 山 慎 吾  
(TEL. 03-3555-4066)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 24 年 2 月 24 日に公表いたしました平成 24 年 7 月期通期（平成 23 年 7 月 21 日から平成 24 年 7 月 20 日）の業績予想（連結・個別）につきまして、下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 連結業績予想数値の修正

##### (1) 平成 24 年 7 月期通期業績予想数値の修正

(平成 23 年 7 月 21 日～平成 24 年 7 月 20 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	122,000	300	600	0	—
今 回 修 正 予 想 (B)	121,200	△230	200	△660	△13 円 14 銭
増 減 額 (B-A)	△800	△530	△400	△660	—
増 減 率 (%)	△0.7	—	△66.7	—	—
前期実績(平成 23 年 7 月期)	118,025	△1,987	△1,506	△2,160	△42 円 51 銭

#### 2. 個別業績予想数値の修正

##### (1) 平成 24 年 7 月期通期業績予想数値の修正

(平成 23 年 7 月 21 日～平成 24 年 7 月 20 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	79,000	△950	△400	△430	△8 円 54 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	78,200	△1,080	△490	△790	△15 円 69 銭
増 減 額 (B-A)	△800	△130	△90	△360	—
増 減 率 (%)	△1.0	—	—	—	—
前期実績(平成 23 年 7 月期)	78,448	△2,540	△1,821	△1,782	△35 円 00 銭

### 3. 連結業績予想修正の理由

当連結会計年度におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により深刻な状況で推移してまいりましたが、その後官民の総力を結集した復旧・復興努力を通じて回復基調に転じたものの、欧州金融危機に端を発した世界経済の減速、急速な円高の進行などから景気の回復は緩やかなものとなりました。

このような状況のもと、当社グループは、海外事業の拡大、事業本部組織の再編、環境対策事業の加速化、グループ会社の事業再編などにより事業構造改革を進めることで、黒字回復を目指してまいりました。

公共関連事業分野では、小中高等学校及び大学向け教育用 I C Tシステムの売上が伸長し、情報関連事業分野でも中堅中小企業向け並びに福祉施設向けのソリューションビジネスが拡大し、直系販売会社の合併後の業績も堅調に推移いたしました。一方で、オフィス関連事業分野では、復興支援需要や首都圏新築ビル案件、移転案件などの需要が回復し、前年同期の業績を上回り、赤字幅は縮小したものの、国内市場での競争は一層厳しい環境が続き、当初の計画を達成することはできませんでした。

これらにより、当連結会計年度の売上高は 1,212 億円となり、前連結会計年度比では 2.7%増となるものの、既発表予想に比べ 8 億円減少する見込みであります。また、営業損失は 2 億 3 千万円（前連結会計年度は 19 億 8 千 7 百万円の損失）、経常利益は 2 億円（前連結会計年度は 15 億 6 百万円の損失）と前年実績を約 17 億円上回り、経常利益では黒字回復できるものの、既発表予想は下回る見込みであります。

当期純利益につきましては、前述の経常利益の減少に加え、保有する有価証券の減損約 2 億円や、東京地区の事務所再配置に係る費用約 1 億 3 千万円を特別損失に計上したことなどにより、既発表予想を下回り、6 億 6 千万円の損失（前連結会計年度は 21 億 6 千万円の損失）となる見込みであります。

### 4. 個別業績予想修正の理由

主な理由は連結業績予想修正理由と同様であります。

※上記の予想は本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上